

神と鬼と天の關係に就きて

井上哲次郎

それは斯う云ふので、素より共通點があるから神の字を使つたのであります、餘程支那の鬼神とは違ふのでありますて鬼神の鬼だけから見ると「神」の字とは違ふのです、支那には天と神と云ふ區別があります、即ちもう一つ神の外に天と云ふのがあつて神と云ふのはスピリットのやうな考である。易の神道と云ふものと日本の神道とは同一視してならぬ、鬼神など、云ふ字は支那流の概念があるので神道的の神々と一様にすると困ると思ふ。固より共通點がなければあの字を當筈めることはないから共通點がないと云ふのではないが、大に漢字に騙されぬやうにしなければならぬと思ひます、其點であります。

加藤玄智

司會者として皆様に申し上げます、まだ議論は滾々として盡きぬやうであります、もう時間は大分経過いたしてをりますから今晚は殘念ながら是で閉會いたします。